

# 社会福祉事業に積極的に協力

ーチャリティゴルフ大会の収益金を活用ー

## 寄贈先は那覇市など3市と福祉団体へ



大村政興会長ら執行部は西原町在の愛隣園を訪問し、金一封を贈呈した

県設備設計事務所協会の大村政興会長ら執行部は、昨年11月に開催した『チャリティゴルフ大会』での収益金を公益的事業に役立てることになり、那覇市など4団体の要望にそって車椅子やチャイルドシート、現金を寄贈した。

同福祉対策(事業委員会主催)は、協会設立以来の試みで、今後も機会をみて地域の福祉事業に貢献し、協会の社会的地位の向上と認識度を高めることになっている。

今回の福祉事業について、大村会長は『何しろ初めての催しなので、どれほどの収益が上げられるか不安もあつたが、会員や賛助会員をはじめ、一般の方々の積極的なご協力、ご支援によつて多額の収益をあげることができた。今度の収益金はすべて社会福祉に役立てよう、との主旨なので、理事会に諮つて寄贈対象団体を決めてもらい、寄贈することになったわけです。ゴルフ大会への参加者に対して心からお礼を申し上げます』と感謝の言葉を述べた。

寄贈団体先は次の通り。

○那覇市へ：車椅子5台

○浦添市と浦添市福祉社会協議会へ：車椅子5台

○宜野湾市へ：チャイルドシート10台○社会福祉法人愛隣園へ：23万円



一般社団法人 沖縄県設備設計事務所協会